



発刊に寄せて

本冊子は、各教科等の指導に共通する授業の基礎的・基本的な指導技術について解説しています。

しかし、改めて言うまでもなく、学校の日々の授業は、教師の創意と工夫による非常に創造的な営みです。また、授業は教師と子どもたちがともに創り上げるものであることから、教師は同じ授業を人生で二度と行い得ないものです。

そのような観点からは、授業について、こうでなければならないという固定した考え方や必ず正しいという方法があるとは限りません。言い換えれば、授業のあり方は日々進歩発展すべきものであると同時に、本県の教師一人一人が自己の授業の改善を通じて本県の教育向上の担い手となってほしいと考えます。

一人でも多くの教師が、本冊子を一つのきっかけとして、専門的な研究と研鑽を深め、よりよい授業を求め続けていくことを期待しています。

おわりに、本冊子は昭和五十一年に初めて作成された「小・中学校新規採用教職員研修の手引き（現・新しく教員になったみなさんへ）」の内容を踏まえて作成しました。約四十年前に、子どもたちのためによりよい授業を求めて「研修の手引き」を作成された本県の諸先輩方の真摯な実践と日々の努力に心より敬意を表します。

平成25年3月

香川県教育委員会事務局

義務教育課長 鈴木 文孝